

- 1 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- a. かねて、福岡商店に販売を委託してあった商品（仕入原価 ¥617,000 発送諸掛 ¥13,000）について、同店から右の売上計算書とともに手取金を小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。
- b. かねて、商品代金として大分商店から裏書譲渡されていた約束手形が不渡りとなり、手形金額 ¥800,000 と償還請求の諸費用 ¥7,000 をあわせて償還請求していたが、本日、請求金額と期日以後の利息 ¥9,000 を現金で受け取った。
- c. 宮崎商店は、商品 ¥900,000 を36か月の均等分割払いで売り渡し、同時に、第1回目の割賦金 ¥25,000 を現金で受け取った。
- d. 九州商店の本店は、別府支店が小倉支店の従業員の旅費 ¥15,000 を現金で立て替え払いしたとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。（本店の仕訳）
- e. 佐世保産業株式会社は、決算の結果、当期純利益 ¥740,000 を計上した。
- f. 熊本商事株式会社は、設立にさいし、株式300株を1株につき ¥100,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥50,000 は資本金に計上しないこととした。なお、設立に要した諸費用 ¥780,000 は小切手を振り出して支払い、全額繰延資産として処理した。
- g. 長崎商事株式会社（決算年/回）は、中間申告をおこない、前年度の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,640,000 の2分の1を小切手を振り出して納付した。

売上計算書				¥900,000
売上高	諸	掛		
保管料			¥ 4,200	
雑費			3,800	
手数料			45,000	53,000
差引手取金				¥847,000

- 2 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。ただし、
- 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
 - 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
 - 総勘定元帳・売掛金元帳・買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。

取引

1月/2日 高知商店から商品 ¥560,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

1/8日 愛媛商店から受け取っていた約束手形 ¥380,000 が、本日、満期となり当座預金に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。

23日 香川商店に対する買掛金 ¥210,000 を小切手を振り出して支払った。

25日 徳島商店に対する売掛金 ¥470,000 を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

- 3 次の各問いに答えなさい。
- (1) 鹿児島商店（個人企業）の下記の勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 仕 入 高			b. 期 首 の 現 金		
損 益			資 料		
12/31 仕 入	4,200,000	12/31 売 上	5,600,000	資産および負債	
" 給 料	951,000			(期 首)	(期 末)
" 減価償却費	75,000			現 金	¥ 340,000
" 雑 費	24,000			売 掛 金	628,000
" 資 本 金	350,000			商 品	510,000
	5,600,000		5,600,000	備 品	500,000
				買 掛 金	490,000
					640,000
引 出 金					
10/11 現 金	30,000	12/31 資 本 金	30,000		

- (2) 佐賀商店（個人企業）の平成○年/2月3/日における本店および支店の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。
- a. 支店勘定残高・本店勘定残高の一致額 b. 本支店合併の買掛金 c. 本支店合併の売上総利益

資 料			
i 元帳勘定残高 (一部)			
繰 越 商 品	本 店	支 店	
買 掛 金	¥ 750,000	¥ 185,000	
支 店	640,000	370,000	
本 店	710,000 (借 方)		
売 上		557,000 (貸 方)	
仕 入	9,830,000	3,450,000	
	7,746,000	2,794,000	
ii 決算整理事項 (一部)			
期末商品棚卸高	本店 ¥ 632,000		
	支店 ¥ 150,000 (未達商品は含まれていない。)		
iii 未 達 事 項			
① 本店から支店に発送した商品 ¥80,000 (原価) が、支店に未達である。			
② 本店で支店の買掛金 ¥ を支払ったが、この通知が支店に未達である。			
③ 支店で本店の広告料 ¥60,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。			
④ 本店で支店受取分の利息 ¥40,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。			

- 4 四国商店の1月25日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取引

1月25日 松山商店から商品 180,000 を仕入れ、代金のうち 120,000 は約束手形#5 を振り出して支払い、残額は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		売上伝票	
売掛金	168,000	買掛金	154,000	讃岐商店	317,000
当座預金	436,000	当座預金	460,000	今治商店	493,000
受取利息	18,000	買掛金	158,000	丸亀商店(戻り)	12,000
売掛金	216,000	広告料	21,000	高松商店	248,000
() ()		() ()		() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
支払手形	109,000	当座預金	109,000
当座預金	236,000	受取手形	236,000
買掛金	147,000	売掛金	147,000
広告料	24,000	当座預金	24,000
受取手形	395,000	売掛金	395,000
() ()		() ()	

仕入伝票	
鳴門商店	275,000
伊予商店(値引)	15,000
宇和島商店	49,000
道後商店	230,000
唐津商店	178,000
() ()	

- 5 沖縄商店(個人企業 決算年/回 12月31日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。
- よって、
- (1) 付記事項の仕訳を示しなさい。
 - (2) 整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
 - (3) 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金 757,000	当座預金 3,496,000	受取手形 1,260,000
売掛金 1,940,000	貸倒引当金 85,000	有価証券 1,825,000
繰越商品 1,421,000	備品 2,000,000	備品減価償却累計額 300,000
支払手形 1,109,000	買掛金 1,984,000	借入金 1,500,000
従業員預り金 160,000	資本金 6,000,000	売上 17,145,000
受取手数料 197,000	仕入 12,876,000	給料 2,004,000
支払家賃 600,000	保険料 120,000	消耗品費 81,000
雑費 58,000	支払利息 42,000	

付記事項

- ① 那覇商店に対する売掛金の回収として、同店振り出しの約束手形 100,000 を受け取っていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 1,530,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ5%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 取得原価 2,000,000 残存価額は取得原価の10% 耐用年数は6年とし、定額法による。
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する博多商事株式会社の株式25株(帳簿価額 @ 73,000)であり、1株につき 71,000 に評価替える。
- 消耗品未使用高 27,000
- 保険料前払高 保険料のうち 96,000 は、本年4月/日に1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 家賃未払高 120,000

1

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

当座預金出納帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	円	売掛金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	円	買掛金	諸 口
		前ページから		852,000	635,000			前ページから		514,000	392,000

総勘定元帳

当座預金

2

1/1 前期繰越	1,120,000	
売 掛 金		4
1/1 前期繰越	1,850,000	
売 掛 金 元 帳		
徳 島 商 店		1
1/1 前月繰越	790,000	

受取手形

3

1/1 前期繰越	980,000	
買 掛 金		15
1/1 前期繰越	1,640,000	
買 掛 金 元 帳		
香 川 商 店		3
1/1 前月繰越	430,000	

3

(1)	a	仕 入 高	¥	b	期 首 の 現 金	¥
(2)	a	支店勘定残高・ 本店勘定残高 の 一 致 額	¥	b	本支店合併の 買 掛 金	¥
	c	本支店合併の 売上総利益	¥			

試 験 場 校	受 験 番 号

2 級の 1 得点

4

仕 訳 集 計 表

平成○年/月25日

借 方	元 子	勘 定 科 目	元 子	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		売 上		
		受 取 利 息		
		仕 入		
		広 告 料		

5

(1)

	借 方	貸 方
①		

(2)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

	借 方	貸 方
d		
e		
f		
g		

(3) 損 益 計 算 書

沖縄商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料		()	
()		受 取 手 数 料	
()		()	
支 払 家 賃			
保 険 料			
消 耗 品 費			
雑 費			
支 払 利 息			
()			
()			

貸 借 対 照 表

沖縄商店 平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現 金		支 払 手 形	
当座預金		買 掛 金	
受取手形()		借 入 金	
貸倒引当金()		従業員預り金	
売 掛 金 ()		()	
貸倒引当金()		資 本 金	
有価証券		()	
商 品			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額()			

試 験 場 校 受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借 方	貸 方
a	当座預金 847,000 仕入 630,000	(積送品) 売上 847,000 積送品 630,000
b	現金 816,000	不渡手形 807,000 受取利息 9,000
c	割賦売掛金 900,000 現金 25,000	(割賦) 売上 900,000 割賦売掛金 25,000
d	小倉支店 15,000	別府支店 15,000
e	損益 740,000	繰越利益剰余金 740,000
f	当座預金 30,000,000 創立費 780,000	資本金 15,000,000 資本準備金(または株式払込剰余金) 15,000,000 当座預金 780,000
g	仮払法人税等 820,000	当座預金 820,000

2

当座預金出納帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	売掛金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	買掛金	諸 口
		前ページから		852,000	635,000			前ページから		514,000	392,000
1	18	受取手形	約手入金 3		380,000	1	12	仕入	高知商店 ✓		560,000
	25	売掛金	徳島商店 売1	470,000			23	買掛金	香川商店 買3	210,000	
				1,322,000	1,015,000					724,000	952,000
	31		4		1,322,000		31		15		724,000
	"		2		2,337,000		"		2		1,676,000
		前月繰越	✓		1,120,000			次月繰越	✓		1,781,000
					3,457,000						3,457,000

総勘定元帳

当座預金		2
1/1 前期繰越	1,120,000	1/31 1,676,000
31	2,337,000	
売掛金		4
1/1 前期繰越	1,850,000	1/31 1,322,000
売掛金元帳		
徳島商店		1
1/1 前月繰越	790,000	1/25 470,000

受 取 手 形				3
1/1	前期繰越	980,000	1/18	380,000
買 掛 金				15
1/31		724,000	1/1	前期繰越 1,640,000
買 掛 金 元 帳				
香 川 商 店				3
1/23		210,000	1/1	前月繰越 430,000

3

(1)	a	仕入高 ¥4,220,000	b	期首の現金 ¥124,000		
(2)	a	支店勘定残高・ 本店勘定残高の一致額 ¥650,000	b	本支店合併の 買掛金 ¥957,000	c	本支店合併の 売上総利益 ¥2,587,000

4

仕 訳 集 計 表

平成○年/月25日

借 方	平 子	勘 定 科 目	平 子	貸 方
838,000		現 金		793,000
696,000		当 座 預 金		569,000
395,000		受 取 手 形		236,000
1,058,000		売 掛 金		938,000
109,000		支 払 手 形		120,000
594,000		買 掛 金		912,000
12,000		売 上		1,058,000
		受 取 利 息		18,000
912,000		仕 入		15,000
45,000		広 告 料		
4,659,000				4,659,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	受 取 手 形 100,000	売 掛 金 100,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,421,000	繰 越 商 品 1,421,000
	繰 越 商 品 1,530,000	仕 入 1,530,000
b	貸 倒 引 当 金 85,000	貸 倒 引 当 金 戻 入 85,000
	貸 倒 償 却※ 160,000	貸 倒 引 当 金 160,000
c	減 価 償 却 費 300,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 300,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 評 価 損 50,000	有 価 証 券 50,000
e	消 耗 品 27,000	消 耗 品 費 27,000
f	前 払 保 険 料 24,000	保 険 料 24,000
g	支 払 家 賃 120,000	未 払 家 賃 120,000

(3)

損 益 計 算 書

沖縄商店 平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,421,000	売 上 高	17,145,000
仕 入 高	12,876,000	期末商品棚卸高	1,530,000
売上総利益	4,378,000		
	18,675,000		18,675,000
給 料	2,004,000	(売上総利益)	4,378,000
※(貸 倒 償 却)	160,000	受 取 手 数 料	197,000
(減 価 償 却 費)	300,000	(貸 倒 引 当 金 戻 入)	85,000
支 払 家 賃	720,000		
保 険 料	96,000		
消 耗 品 費	54,000		
雑 費	58,000		
支 払 利 息	42,000		
(有価証券評価損)	50,000		
(当期純利益)	1,176,000		
	4,660,000		4,660,000

貸 借 対 照 表

沖縄商店

平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現 金	757,000	支 払 手 形	1,109,000
当座預金	3,496,000	買 掛 金	1,984,000
受取手形(1,360,000)		借 入 金	1,500,000
貸倒引当金(68,000)	1,292,000	従業員預り金	160,000
売 掛 金 (1,840,000)		(未 払 家 賃)	120,000
貸倒引当金(92,000)	1,748,000	資 本 金	6,000,000
有価証券	1,775,000	(当期純利益)	1,176,000
商 品	1,530,000		
(消 耗 品)	27,000		
(前払保険料)	24,000		
備 品 (2,000,000)			
減価償却累計額(600,000)	1,400,000		
	12,049,000		12,049,000

※ 貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。